

第33号

ボランティアの輪を広げよう

—発行—

糸魚川市ボランティアセンター
糸魚川市ボランティア
連絡協議会
(糸魚川市社会福祉協議会内)
新潟県糸魚川市寺町4-3-1
TEL (025)552-7700
FAX (025)553-1657



ボランティアに参加しませんか
あなたの力を社会に活かそう



やさしい心に感謝!!

自主研修会に参加して

能生ボランティア友の会 日馬 富子

3地区合同自主研修会で事務局含め総勢18名で、11月30日「お互い様の社会の実現」をめざしている黒部市社協様へ伺いました。民間の福祉活動団体や活動家などが2019～2023年度の5年間に何を目標としてどんな事に力を入れて活動していくかという「黒部の福祉を良くする活動」「5GOALS、for黒部」という取組の経過などをお聞きしました。

地区、団体、ボランティア団体によるヒアリングや、ワー



クショップなどで出た課題や良い所などを「わかりやすくシンプル」にしデータを見える化してわかりやすく対話につなげたり、ワークショップの年代が20～80才と幅広い年代の人を集めたりと目を見はるものがありました。

先日、糸魚川でも災害ボランティア設置訓練がありました。黒部でも実際の設置は今まで無いとの事ですが、設置訓練のあとに1人ぐらしなど見守りを必要としている方達への除雪などの活動を行っているとの事でした。

又、ボランティアコーディネーターの方のお話の中で、子供のころから清掃活動などのボランティアにかかわり、福祉にふれあう機会をふやしていく事の大切さを思いました。

ラインで相談を受けたり、地域幸福度指標を示したりと学ぶ事の多い黒部社協さんでの一日でした。

研修に参加して

傾聴ボランティアいとでんわ 山崎 成子

令和5年11月30日、ボランティア連絡協議会関連の各団体の方々と共に、黒部市の「黒部市社会福祉協議会」に於ての研修に参加してまいりました。

黒部市では「お互い様の福祉の実現の為に」を目標に「5GOALS for 黒部」と名付けて、様々な活動を企画し、それに取り組んで5年を迎えたとの事。

活動の内容は、

①住民を巻き込んでの「福祉ニーズ」の掘り起こし



- ②「ニーズ」に添った「プラン」作り
 - ③「実行」 ④「反省・評価」 ⑤「改善」
 - ⑥一連の活動内容をデジタルを駆使して住民に「周知」
 - ⑦そこから又「^{あらた}新」なニーズの掘り起こし
- という事でした。

このサイクルの取り組みを続ければ、「福祉」がより身近な事として住民に「受け入れられる」だろうな!と感じました。

他市の状況や様々な取り組み等々拝聴し、今、自分が住んでいる地域を振り返る良い機会となり、有意義な一日でした。ありがとうございました。



お詫びと訂正

第32号(令和5年9月25日発行)の4ページ目下段のタイトルと寄稿者の所属に誤りがありました。

(誤)タイトル:能生地区老連 所属:会長 満城房子 → (正)タイトル:終活講座に参加して 所属:藤崎福寿会 満城房子
お詫びして訂正いたします。

災害ボランティアセンター学習会・設置訓練を開催！！

新潟県社会福祉協議会が実施する災害アドバイザー派遣事業を活用し、糸魚川市ボランティア連絡協議会、糸魚川市社会福祉協議会、糸魚川青年会議所の協働で実施しました。

9月25日にはアドバイザーである中越防災安全推進機構の野村祐太氏、野村卓也氏を講師に、災害ボランティアセンター学習会を開催し、11月25日には災害ボランティアセンターの設置訓練を行いました。

9月25日 学習会〈参加者80名〉

昼の部



講義（講師：野村卓也氏）

夜の部



講義（講師：野村祐太氏）

パネルディスカッション：駅北大火の災害ボラセン経験者4名

11月25日 設置訓練〈参加者54名〉



ボランティア受付



マッチング



活動資機材の貸出



活動報告

参加者の感想

糸魚川ライオンズクラブ 園田 登

9月25日、11月25日の災害ボランティアセンター学習会と設置訓練に、糸魚川市ボランティア連絡協議会から糸魚川ライオンズクラブとして倉又会長、園田、清水、高尾の4名で参加させていただきました。

設置訓練の中で、こういった活動には初めての参加だったのですが、ボランティア役として班リーダーをやる機会がありました。そこで気付いたことは、よりしっかりと周りの話を聞いて、我が班は勿論のこと、他の班の方々とも、慎重且つ迅速に、コミュニケーションをとることが大切であると実感しました。

振り返りを含めて計2日間の模擬実践を通して、実際に活動するときには何が求められているかを意識して行動できるようになったように感じます。

ありがとうございました。

(一社)糸魚川青年会議所 河野 成美

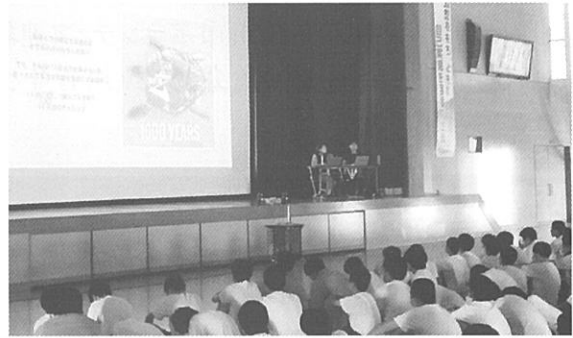
私は糸魚川青年会議所メンバーとして、11月25日に開催された災害ボランティアセンター設置訓練に参加させていただきました。

今回初めて、実際の現場を想定した大規模な訓練に参加させていただいて、もっと社会のために役立つことをしたい、ボランティア活動と関わって自分自身の成長に繋げていきたいと強く思いました。

そして、現地のニーズ調整を正確にまとめて、そのニーズに合わせた人員配置を促して下さったり、私達ボランティア参加者の意見の違いや、行き過ぎた行動などへの啓発をして下さったりしていた、ボランティアコーディネーターの重要性を強く感じました。自分自身、さらに勉強をしてボランティアのコーディネートに対する知識やスキルを身に付けていきたいです。

9月22日(金) 糸魚川中学校 地区貢献活動を行いました

糸魚川中学校では、毎年9月に地区貢献活動を行っています。生徒が地区ごとに分かれて、公民館や公園、海岸で清掃などの奉仕活動に取り組みます。今年度は、事前学習会として、伊藤薫さん・塚田ちひろさん(株式会社イールー)による講演会を行いました。講演を通して、糸魚川の豊かな自然環境に世界の人々が注目していること、地元で暮らす私たちがその環境を守り、次世代に引き継いでいかななくてはならないことを知りました。

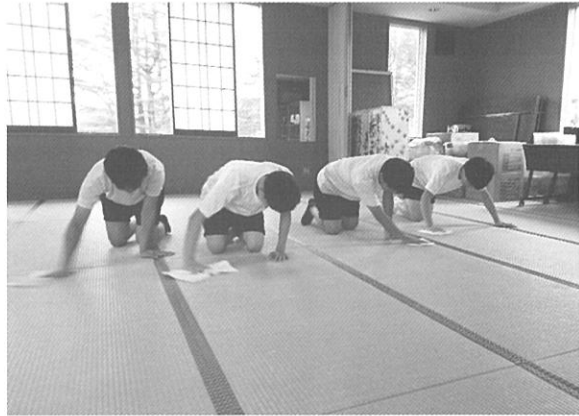


9月14日 事前講演会の様子

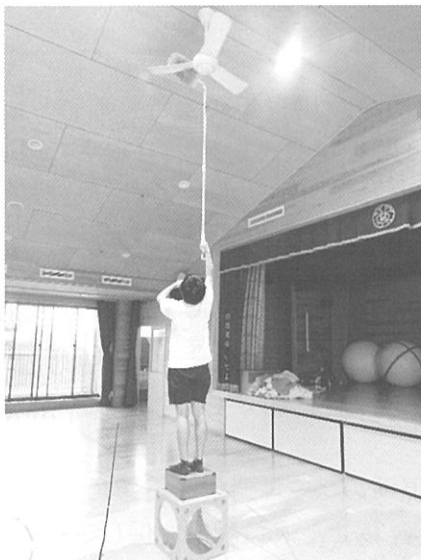
そして清掃活動当日には、身近な自然や地区の施設に関心をもち、「わがいといがわ」の意識をもって、活動に取り組みました。



みやまの里の清掃



平牛会館の清掃



糸魚川幼稚園の清掃



根知小学校の清掃

思い出の場所(出身小学校)をきれいにできてよかったです。校長先生に喜んでもらえてよかったです。

地域のために何かすることはとても大切だと思いました。思っていたよりもゴミがたくさんあってびっくりしました。



ビーチホールまがたまの清掃

編集後記

無病息災を願って戴いた御神酒の醒めやらぬうちの、この恐怖の揺れは一体何なのだ。最大震度7を観測した能登半島地震であった。亡くなられた方々、

建物被害に遭遇された方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。正月らしからぬ後記となりましたが、本年もよろしくお祈りします。

広報部 杉ノ上